

【第1編 経済2-2】歴史から分かる信用貨幣の仕組み

貨幣経済の仕組み 今でも銀行で紙幣と金は交換できるのか？

■昔のお金

・みんながその価値を信用すれば、その媒体は「紙」でなくてもお金として使える

→稲、布、貝がら、塩

しかし、腐ったりして劣化してしまう

→金・銀・鉄

「日本銀行兌換券」から「日本銀行券」へ



重すぎて持ち歩くのが不便…

■ 1882 年に日本銀行の誕生

① 日本銀行兌換券

そもそも「兌換券」とは何か？

此券引換に金貨百圓
相渡可申候



② 日本銀行券（不換紙幣＝信用紙幣）

■ 金本位制

→ 金を裏付けとして、貨幣の交換価値を表す体制

■ なぜ金本位制は廃止されてしまったのか？

→ 経済が発展・活発化してくるにつれて紙幣不足が深刻化

→ 紙幣の発行料が金の保有量に制限されてしまうと

経済の発展の足を引っ張ることになりかねない

・ 1931 年に世界恐慌の発生

→ 金の輸出を禁止、金本位制の停止へ

→ 犬養内閣・高橋是清大蔵省

■管理通貨制度

- ①信用に基づいて、通貨の発行量を調整する
- ②満州事変（1931年9月）のための戦費調達

なぜ金本位制は廃止されてしまったのか？

経済が発展・活発化してくるにつれて紙幣不足が深刻化

1929年 紙幣の発行量が、金の保有量に制限されてしまうと
経済の発展の足を引っ張ることになりかねない！

1931年（昭和6年）12月13日 高橋是清 大蔵相（犬養内閣）

→ 金輸出を禁止し、金本位制の停止へ！

管理通貨制度（Managed Currency System）

国や中央銀行が、その信用に基づいて、
通貨の発行量を調節する

世界恐慌（1929年10月～）による不況改善策としての財政出動
満州事変（1931年9月）のための戦費調達

